

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 20 日 (2020.8.20)

【公開番号】特開 2019-94411 (P2019-94411A)

【公開日】令和 1 年 6 月 20 日 (2019.6.20)

【年通号数】公開・登録公報 2019-023

【出願番号】特願 2017-223775 (P2017-223775)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/10 (2014.01)

【 F I 】

C 0 9 D 11/10

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 7 日 (2020.7.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリウレタン樹脂、ロジン樹脂および塩化ビニル - 酢酸ビニル共重合樹脂を含有するラミネート用グラビアインキであって、

前記ロジン樹脂の酸価が、 100 mg KOH / g 以下であり、かつ、前記ロジン樹脂の軟化点が、 $60 \sim 150$ であり、前記塩化ビニル - 酢酸ビニル共重合樹脂の水酸基価が、 $30 \sim 200\text{ mg KOH / g}$ である、ラミネート用グラビアインキ。

【請求項 2】

ロジン樹脂と塩化ビニル - 酢酸ビニル共重合樹脂との質量比率（ロジン樹脂：塩化ビニル - 酢酸ビニル共重合樹脂）は、 $20 : 80 \sim 90 : 10$ であることを特徴とする請求項 1 に記載のラミネート用グラビアインキ。

【請求項 3】

ロジン樹脂は、1 分子あたりの水酸基の数が $2 \sim 4$ であり、数平均分子量が 1000 未満である低分子ポリオールと、ロジン酸とのエステル縮合樹脂であることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載のラミネート用グラビアインキ。

【請求項 4】

ロジン樹脂は、ロジンエステルであり、前記ロジンエステルの重量平均分子量が、 $500 \sim 2000$ である、請求項 1 ～ 3 いずれかに記載のラミネート用グラビアインキ。

【請求項 5】

更にカルナバワックスを含有することを特徴とする、請求項 1 ～ 4 いずれかに記載のラミネート用グラビアインキ。

【請求項 6】

基材 1 上に、請求項 1 ～ 5 いずれかに記載のラミネート用グラビアインキからなる印刷層を有することを特徴とする印刷物。

【請求項 7】

基材 1、請求項 1 ～ 5 いずれかに記載のラミネート用グラビアインキからなる印刷層、接着剤層および基材 2 を順に有することを特徴とするラミネート積層体。